

富士駅北口周辺地区 復興まちづくり訓練 ニュース

第3号
平成27年10月発行

富士駅北口周辺地区で、第3回復興まちづくり訓練を行いました！

第3回目となる復興まちづくり訓練を9月10日（木）に開催し、復興まちづくりの専門家である常葉大学の池田浩敬教授による進行のもと、他市町の商店街の事例を参考にしつつ、商店街の資源やターゲットとする利用者層、商店街づくりに向けたコンセプトなど、被災後における商店街の復興像について、意見交換を行いました。

商店街の活性化事例

富士本町商店街の復興像を検討するうえでの参考として、全国の商店街活性化事例と、震災後の商店街の復興事例について、紹介をしました。

<平常時の商店街活性化事例>

大分県豊後高田市 昭和の町

課題：スーパーや郊外型の大規模商店の進出により、空き店舗が増加。

取組：昭和30年前後の建物が多いことを利点に、「昭和の町」をテーマに再生を推進。

結果：様々なメディアに取り上げられたことで、来街者が増加。

その他：案内人スタッフの設置により、滞在時間が延長。



昭和の町（豊後高田市）

<震災復興にかかる商店街復興事例>

兵庫県神戸市 大正筋商店街

取組：大規模再開発事業による商業床の確保と住商工の再配置による副都心化。食を通じたイベント等の実施。

結果：被災前の商店街と事業規模のミスマッチにより、空き店舗が解消されず、シャッター通りとなっている。



大正筋商店街（神戸市）

商店街の復興像を考える

商店街一帯が被災したと仮定して、商店街の復興像について検討しました。商店街の売りや主なターゲットとする利用者層を検討した上で、商店街のコンセプトと、商店街の立地について意見交換を行いました。

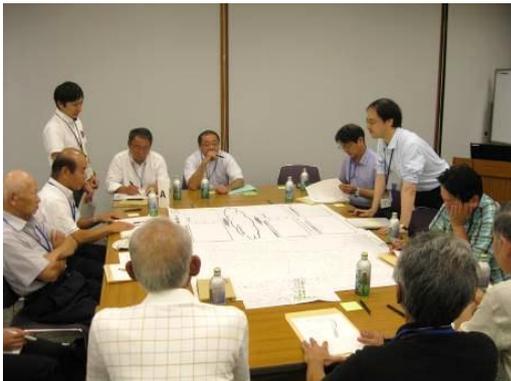
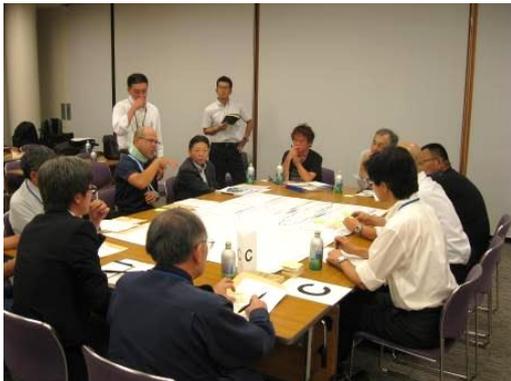
※参加者の関係上、AとCの2グループに分かれ、意見交換を行いました。

※第4回訓練でも引き続き検討していく予定です。



検討結果は裏面です

<検討結果（第3回訓練終了時）>

A グループ	C グループ
商店街の売り（○現在の売り ◆今後売りにしたいこと）	
<ul style="list-style-type: none"> ○交通の拠点（富士駅前） ○甲子神社祭 ◆富士山の景観 ◆地元の食材（富士山の水、しらす、その他）のアピール ◆駅に近いので夜おそくまで営業する店舗 ◆パピー跡地も利用 	<ul style="list-style-type: none"> ○雨除け日除けになるアーケード ○甲子神社祭、軽トラ市、学生参加のイベントなど ○個性有るデザインの建物 ◆富士山がきれいに見える、ビューポイントの整備 ◆紙の博物館（製紙）、王子製紙会社との協力 ◆浅間大社、昔あった鳥居の復活 ◆水とのつながり
主にターゲットとする利用者層	
<ul style="list-style-type: none"> ・高校生や若者 ・観光客 ・駅利用客 ・リピーター 	<ul style="list-style-type: none"> ・外国人 ・富士山観光客 ・レトロをなつかしむ中高齢者
商店街づくりのコンセプト（案）	
<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場を確保した商店街づくり（車で利用しやすい） ・富士山を眺望できる商店街づくり ・商店街の話題性を高めるために、目玉をつくる ・安全に利用できる商店街づくり（商店街内の車両通行を排除する） 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の歴史や文化を活かした商店街づくり ・外国人や富士山の観光客を集客し、賑わいを形成する商店街づくり ・富士山の眺望を活かし、湧水などを取り入れた空間を演出する
まちづくりのアイデアや土地利用の考え方	
<ul style="list-style-type: none"> ・駅のそばに富士山のビューポイント ・アーケードの撤去（富士山が見えるように） ・遅くまで営業している店舗 ・ブロック別にターゲット層を分ける ・まとまった駐車場を屋上に 	<ul style="list-style-type: none"> ・飲み屋街とその他の棲み分け ・一部道路の拡幅、公園の配置 ・映画館、劇場を復活 ・ゲームセンターなど娯楽施設 ・新富士駅との連絡
	

復興まちづくり訓練の内容等については、富士市ウェブサイトでも公開しています。
『富士市復興まちづくり訓練』で検索してください。

<事務局>

富士市 都市整備部 都市計画課 都市政策担当

TEL : 0545-55-2786

メール : toshikei@div.city.fuji.shizuoka.jp